

学ぼう！野菜のこと 農業のこと



給食協会では食育の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため収穫体験を行っています。

今回は、1月16日（木）に八幡西区八見小学校児童36名が、若松区有毛の松浦剛さんの畑で“だいこん”の収穫体験を行いました。

松浦さんから、「葉っぱを束ねてまっすぐ上にひっぱって」と収穫方法を教えていただき、いざ収穫開始！勢いよく畑に入っていきます。



昨年同様、今年も暖冬で、松浦ファームのだいこんは、大きくまっすぐ、立派に育っていました。思っていた以上に大きなだいこんの収穫となり、畑には子どもたちの驚きの歓声と笑顔があふれていました。

学校に戻って、交流会を行い、松浦さんから、一粒の小さい種からこんなにも大きなだいこんが育つことや、一日2千～3千本のだいこんを抜いて出荷しているなど、農業の不思議や大変さ、楽しさを教えていただきました。

だいこんを抱えて記念写真



この日は、松浦さんのだいこんがたっぷり入っただいこんカレーを、ご飯に豪快にかけておいしくいただきました。



ブレイルームにて給食交流会

